

第20回地域福祉セミナー

「みんなの "あい" でつながる地域」

日 時 : 令和4年11月2日(水) 13:30~16:00

会 場 : 仙台市福祉プラザ2階 ふれあいホール

主 催 : 社会福祉法人仙台市社会福祉協議会、仙台市

共 催 : 仙台市地域包括支援センター連絡協議会

後 援 : 仙台市連合町内会長会、仙台市民生委員児童委員協議会、日本赤十字社宮城県支部仙台市地区本部、仙台市共同募金委員会、仙台市老人福祉施設協議会、仙台市知的障害者関係団体連絡協議会、社会福祉法人仙台市手をつなぐ育成会、社会福祉法人仙台市障害者福祉協会、特定非営利活動法人仙台市精神保健福祉団体連絡協議会、特定非営利活動法人せんだい・みやぎ NPO センター、社会福祉法人宮城県社会福祉協議会、一般社団法人宮城県社会福祉士会、仙台商工会議所、公益社団法人仙台青年会議所

目 次

実践報告 「多様な主体の連携・協働による地域づくり」

- 「中学生主体のボランティアサークルと地区社協の連携について」 3
ちよこボラ（錦ヶ丘中学校 生徒） ※ ビデオメッセージ
錦ヶ丘地区社会福祉協議会 地域福祉活動推進員 立花 幸賢 氏
- 「よりどころ にこにこ広場の取り組みについて」 9
中田地区社会福祉協議会 役員 鈴木 和子 氏
西中田地域包括支援センター 生活支援コーディネーター 関 淑子 氏
- 「荒町子まもりプロジェクトの取り組みについて」 17
荒町商店街振興組合 副理事長 庄子 康一 氏
荒町児童館（特定非営利活動法人ワーカーズコープ）主任 阿部 早希子 氏

総括講演

- 「多様な主体の連携・協働のために
～みんなをつなぐ物語という伝え方～」 31
特定非営利活動法人いわて連携復興センター 代表理事 葛巻 徹 氏

-
- 開催要綱 43

プログラム

テーマ 「みんなの^{あい}「ai」でつながる地域」

1. 開 会 【13:30~】

2. 実践報告 【13:40~】

「多様な主体の連携・協働による地域づくり」

報告者

「中学生主体のボランティアサークルと地区社協の連携について」

ちょこボラ（錦ヶ丘中学校 生徒） ※ ビデオメッセージ

錦ヶ丘地区社会福祉協議会 地域福祉活動推進員 立花 幸賢 氏

「よりどころ にこにこ広場の取り組みについて」

中田地区社会福祉協議会 役員 鈴木 和子 氏

西中田地域包括支援センター 生活支援コーディネーター 関 淑子 氏

「荒町子まもりプロジェクトの取り組みについて」

荒町商店街振興組合 副理事長 庄子 康一 氏

荒町児童館（特定非営利活動法人ワーカーズコープ）主任 阿部 早希子 氏

進行役

特定非営利活動法人いわて連携復興センター 代表理事 葛巻 徹 氏

休憩

3. 総括講演 【13:40~】

「多様な主体の連携・協働のために～みんなをつなぐ物語という伝え方～」

講 師

特定非営利活動法人いわて連携復興センター 代表理事 葛巻 徹 氏

4. 閉 会 【16:00】

<ご来場の皆様へのお願い>

- ・ホール内は飲食禁止です。ご飲食はホワイエでお願いします。また、ごみの持ち帰りにご協力ください。
- ・喫煙は1階庭園東側、指定の場所で行います。
- ・災害時は係員が誘導いたしますので、指示に従っていただきますようお願いいたします。
- ・携帯電話は、電源をお切りいただくか、マナーモードに設定していただきますようお願いいたします。
- ・来場の皆様による会場内の写真撮影はご遠慮ください。特に登壇者の発表スライド等、個人情報が含まれる場合がございます。ご理解のほどよろしくお願いいたします。
- ・本会では会場内の撮影を行っております。撮影したものににつきましては、本会広報等に使用する場合がございますことを予めご了承ください。
- ・会場内外で発生した事故・盗難等につきましては、主催者・会場・出演者は一切の責任を負いません。自己の責任の上管理いただきますようお願いいたします。特に不特定多数の方が入場いたします会場内での貴重品等の管理には、十分ご注意ください。

実践報告

「多様な主体の連携・協働による地域づくり」

報告者

「中学生主体のボランティアサークルと地区社協の連携について」

ちよこボラ（錦ヶ丘中学校 生徒） ※ ビデオメッセージ

錦ヶ丘地区社会福祉協議会 地域福祉活動推進員 立花 幸賢 氏

「よりどころ にこにこ広場の取り組みについて」

中田地区社会福祉協議会 役員 鈴木 和子 氏

西中田地域包括支援センター 生活支援コーディネーター 関 淑子 氏

「荒町子まもりプロジェクトの取り組みについて」

荒町商店街振興組合 副理事長 庄子 康一 氏

荒町児童館（特定非営利活動法人ワーカーズコープ）主任 阿部 早希子 氏

進行役

特定非営利活動法人いわて連携復興センター 代表理事 葛巻 徹 氏

中学生主体のボランティアサークル と地区社協の連携について

令和4年11月2日（水）

- ・ **ちょこボラ**サークルリーダー（ビデオメッセージ）
◇阿部智香（中3）◇佐々木楽果（中2）
- ・ 錦ヶ丘地区社会福祉協議会◇立花幸賢

私たちのまち（錦ヶ丘）概況（2022.4.1現在）

世帯数	2,938
人口	8,899
高齢者	1,043
未就学児	605

- ・ 蕃山丘陵地
- ・ 仙台市天文台
- ・ 閑静な住宅地
- ・ 転入者約50世帯/年
- ・ 小/中開校（H27/R1）

中学生が「ちょこボラ」を誕生させた！！

ちょこボラとは？

- ・ 公園のゴミ拾いをする
小学4年生から高校生迄
のボランティアサークル
- ・ 活動日→第2・4金曜日
16：30～17：00

発起人→錦ヶ丘中学校生徒

- ◇阿部 智香さん（3年生）
- ◇佐々木 楽果さん（2年生）
- ・ お二人は 現役の
仙台市ジュニアリーダー
積極的で指導力大！

知っていますか？仙台市ジュニアリーダー

青少年ボランティア活動のリーダー

- ①教育委員会支援の研修受講
・ 学び舎→広瀬市民センター
- ②子ども会活動等の知識技能
- ③幅広い視野と責任感
- ④小学生の憧れるお姉さん
- ⑤大人と子どものつなぎ役

社会貢献・地域活性化

- ①子ども会からの活動要請
- ②市民センターからの活動要請
- ③児童館行事スタッフ
- ④区民センターまつり参加
- ⑤NPO団体からの活動要請

ちょこボラ誕生から活動までの経過

・・・子どもたちは、悩みながらも出口を探し当てた・・・

- ①広瀬市民センター（熊坂様）
- ②仙台市社協青葉区宮城支部事務所（CSW菅原様）
- ③錦ヶ丘地区社協（6月11日 子どもたち+CSW+地区社協）
- ④錦ヶ丘まちづくり活動団体交流会に子どもたち出席
- ⑤ちょこボラ募集チラシ作成・配布 → **メンバー13人**
- ⑥最初の活動場所：錦ヶ丘中公園（8月26日）

子どもたちのビデオメッセージです

インタビュー・撮影

- ・仙台市社協地域福祉課
近野貴宏様にお世話になりました

子どもたちから

- ・本日は、登校日のため会場へ行けません。ビデオメッセージで、**私たちの想いをお聞き下さい**

/☆☆☆ V-START ☆☆☆/

子どもたちのメッセージ いかがだったでしょうか？

公園の役割（目線の違い）

- ・ 大人 タバコの吸い殻
平気で捨てても
いい場所
- ・ 子供 子どもが遊ぶ場所

活動して良かったこと

- ・ 小学生と中学生の関わりの
糸口を作れた
- ・ 未来の錦ヶ丘づくりに社協
の存在・ボランティアの楽しさを
知ってもらえる

活動模様（社協ビブス着用）

錦ヶ丘中央公園結団式・初仕事



錦ヶ丘5丁目南公園（3回目）



社協の役割窓口（今年は二人三脚で）

宮城支部事務所（CSW菅原様）

- ①ボランティア保険加入
- ②子どもたちとの相談窓口
（LINE活用）
- ③活動日のビブス貸与
- ④活動の見守り

地区社協（地域福祉推進員立花）

- ①活動情報を保護者へ連
（SMS活用し信頼構築）
- ②活動資材・用具調達
- ③活動の見守り

今後の見守りと課題

大切に思うこと

- ①子どもの純粋な感性に学ぶ
- ②子どもの主体性を尊重し支援
・否定や押しつけしない
- ③ちょこボラの”**ともしび**“を消さない

課題発掘

- ①子供たちと活動の反省会
（活動継続の鍵）
- ②活動運営のマニュアル作成
- ③地区社協として錦ヶ丘版
「ボランティアスタッフバンク」を構築

最後の報告です

教わったこと・学んだこと


- ①子どもたちの素直な目線
と行動に明るい希望を見た
- ②繋ぐ行動は問題解決の原点
- ③あやし地域包括センター様の応援
・福祉の輪が広がるかも？
- ④宮城支部事務所CSW連携から
・福祉活動の奥深い喜び

心から感謝・感謝です
ご清聴ありがとうございました







よりどころ にここ広場



令和4年11月2日(水)
○西中田地域包括支援センター関 淑子
○中田地区社会福祉協議会
中田中学校学校支援地域本部
鈴木 和子



本日お伝えしたいこと

- ①よりどころにここ広場の紹介
- ②活動に至るまでの経過
- ③私たちの思い





よりどころにここ広場

世代や障害の有無を問わず、誰でも気軽に集うことが出来る集いの場

- ・中田市民センターを会場に、月1回開催
- ・出入りは自由
- ・コロナ感染拡大対策として、入り口で氏名と連絡先の記入を行う。
- ・気軽に参加出来る雰囲気を作ること、開催の負担を軽減することを目的に、関係者が負担なく開催出来るような内容とする。
- ・杜の都の基本体操等のDVDを流し、いつでも体操が出来るコーナーや、折り紙、大人の塗り絵、ボードゲームやカードゲーム等、参加者がそれぞれの好みに応じて楽しむ形。
- ・包括職員等が血圧や酸素濃度、握力測定を行ったり、希望に応じて個別相談に応じるコーナーを設置。
- ・連合町内会・民生委員児童委員協議会・中田市民センター、障害者相談支援事業所、太白区役所等、様々な関係機関と連携している。



よりどころにここ広場の紹介





よりどころにここ広場の紹介



よりどころにここ広場の紹介





よりどころにこここ広場の紹介



よりどころにこここ広場の紹介





活動に至るまでの経過

①中田地区社会福祉協議会主催の研修会

R2年12月5日、「こんな時だからこそ大切にしたい地域の繋がり」をテーマとした研修会を開催

⇒地区社協役員の当時の想い。開催してみての感想…



「みんなで出来るだけ集まって行きたいが、町内会毎にどんな活動があるか意外と知らないことも多い」との意見が出る。



活動に至るまでの経過

②R3年度、中田地区の集いの場

情報を集めた冊子

【よりどころ にこにこ広場】

を作成。

⇒地区社協役員の当時の想い。

開催してみての感想…





私たちの思い

○よりどころにここに広場への思い

○一緒に事業に取り組んで良かったと思うこと



ご清聴ありがとうございました



皆さんもぜひ参加してください！





令和4年6月24日（金）スタート

よりどころ にこにこ広場

よりどころ にこにこ広場は、人と人が気軽に集える場所、ホッと一息できる場所、困った時には相談出来る、中田地区の「よりどころ」です。
話がしたい、友達を作りたい、ちょっとした相談がしたい、くつろげる場所が欲しい…
そんな方達のご参加をお待ちしています♪



開催日 毎月第4金曜日 ※ 詳しくは裏面をご覧ください

時 間 午後1時30分～3時30分

直接会場までお越しください。出入り自由です♪

場 所 中田市民センター

費 用 無料

内 容 特別な催し物はありませんが、
交流を楽しむことができます。

体操や健康チェック、折り紙コーナーもあります。

☆ 常時マスクの着用にご協力ください。

☆ 換気のため室内が寒くなる可能性があります。上着などご準備ください。

☆ 発熱や風邪症状がある方のご参加はご遠慮ください。

☆ 新型コロナウイルスの感染状況等によって中止となる可能性もあります

☆ 水分は各自お持ちください。

【問い合わせ】 西中田地域包括支援センター

電話：022-741-5290

主 催 中田地区社会福祉協議会

協 力 中田地区町内会連合会 中田地区民生児童委員協議会 中田地区老人クラブ連合会

中田中学校学校支援地域本部 中田市民センター 太白区社会福祉協議会

向日葵ライフサポートセンター 太白区障害高齢課 西中田地域包括支援センター

【日時及び会場】 毎月第4金曜日 13時30分～15時30分



	日 時	会 場
1回目	6月24日(金) 13時30分～15時30分	中田市民センター 和室
2回目	7月22日(金) 13時30分～15時30分	中田市民センター 和室
3回目	8月26日(金) 13時30分～15時30分	中田市民センター
4回目	9月23日(金) 13時30分～15時30分	中田市民センター
5回目	10月28日(金) 13時30分～15時30分	中田市民センター
6回目	11月25日(金) 13時30分～15時30分	中田市民センター
7回目	12月23日(金) 13時30分～15時30分	中田市民センター
8回目	1月27日(金) 13時30分～15時30分	中田市民センター
9回目	2月24日(金) 13時30分～15時30分	中田市民センター
10回目	3月24日(金) 13時30分～15時30分	中田市民センター





子どもたちをまん中に 安心安全な町を地域連携の力で！

仙台荒町子まもりプロジェクト



荒町小学校区子まもり防犯月間

荒町商店街振興組合・荒町児童館

第20回地域福祉セミナー『みんなのaiでつながる地域』2022年11月2日



荒町 子まもりプロジェクト連携図

荒町子まもりプロジェクト実行委員会

共催：荒町商店街振興組合・荒町児童館・荒町市民センター / 協力指導：(株)全日警・若林警察署

子どもの防犯を地域の機関が連携し荒町学区の防犯意識を高める。『ながら見守りで365日温かい眼差しで安全安心な町を地域連携の力で』をテーマに10月の1ヶ月を防犯月間として機関・企業が様々な視点から協力。子どもの防犯への連携の輪が県内、市内に広がることを想像して立案されました。



子まもりPJイメージキャラクター
 夢芽(ゆめ)ちゃん
 子どもの『夢』の『芽』を地域で育み守る

子まもり防犯は地域の機関や団体・企業の地域における役割、それぞれの強みを連携することで実現しました。この連携図は地域にある資源を可視化したものです。今回のプロジェクトは、荒町だけでなくこの町でも実施可能な子ども防犯の仕組みづくりも念頭に話し合いを重ねて準備し実践しました。地域資源である各機関が連携することで、防犯以外にも防災やイベント企画等を通して繋がりが、日頃から顔が見える関係をつくるのが大切です。地域課題解決を連携で実現できると考えて進めております。

2021年11月9日 Vol.22 荒町子まもりプロジェクト 実行委員長 庄子 康一

荒町小学校区マップ



荒町商店街の主な行事



疑問

課題

- ・ 古くからあるお店に学生に入ってもらうには？
 - ・ やりたいが負担増
- ・ 子どもたちに回文団扇の歴史をどう伝えるか？
 - ・ マンパワー不足
- ・ 子どもが駆け込んできたとき対応できるのか？
- ・ コロナ禍で遠くの人と会えないからこそ、近くの人と何かできないか？
 - ・ 接点ないのに駆け込めるのか？
 - ・ マンネリ
 - ・ 弱み
- ・ 強みを活かす
- ・ 共通のお土産品
- ・ 連携へ働きかけ
- ・ 紙芝居で歴史伝えよう！
 - ・ 宮城仙台100万羽プロジェクト
- ・ 負担を分担して減らす
- ・ 震災10年プロジェクトリモート大合唱
- ・ 駆け込みやすい環境をつくる
 - ・ 荒町小卒業生へおめでとう動画リレーでサプライズ
- ・ 正しい対応を指導してもらい、実際に訓練したい

解決

解決への行動が『一緒にやりたい!』へ、それぞれのストーリー

困ったときにお店に駆け込みやすい?

大学生が昔からあるお店に入るか?

2008年
子まもりハロウィン

2019年
復活! 幕末特産品
共通のお土産回文団扇

コロナ禍だからこそできることがあるのでは?

集まらなくても
思いは集められる
コロナ禍での活動



様々な団体が連携する
子まもりプロジェクトへ

子まもりハロウィン

2008年TV報道 北海道の小さな町で... 子どもとあいさつできる関係



2008年 1 店



2018年 1 9 店



2021年 3 0 店



2022年 ? 店

参加店が増えることで課題が...



荒町児童館(ワーカーズコープ)

地域になくてはならない役割・存在

強み

気づき

江戸時代
冬は翹
夏は渋うちわ



する版木で復元した團扇。絵柄から身型
来の形とする説もある。



繋がる力:震災10年PJ 荒町リモート大合唱

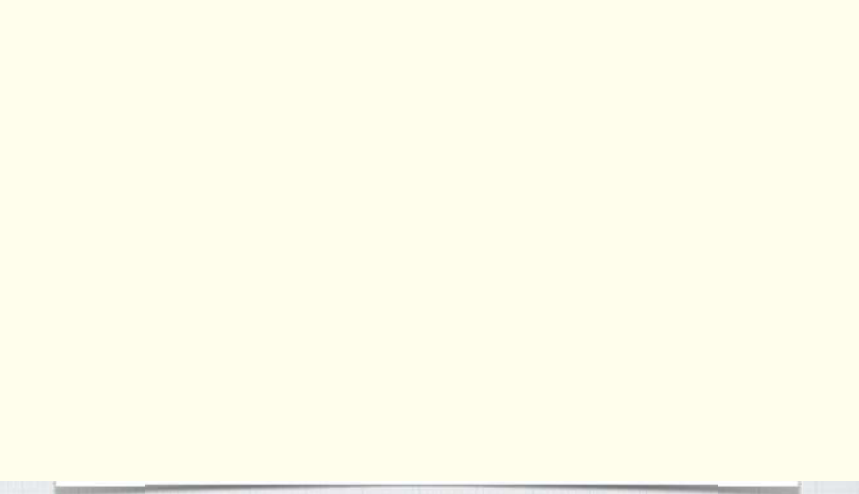
歌『一人じゃできないから』
自分たちの町、みんなの町にエールを♪



荒町市民センター

地域のコミュニティーの拠点

強み



①身近な資源

『ながら見守り365日』

荒町子まもりプロジェクト'21 / 荒町学区の地域資源16団体の連携図
(地域資源=地域にある機関・団体・企業(お店)等)



今回の連携先以外も
 まだまだある地域資源

- 専門学校
- 地域のお店や企業
- 留学生
- 外国人お店
- 障がい者団体
- NPO法人等団体 等

どこの町でも実現可能な仕組みづくり

②強みを活かす

(1) 学校・児童館等の強み
 子どもへの深い関わりの

荒町小学校・PTA
 荒町児童館・みんなのBASE
 五橋中学校

(3) 地域コミュニティの強み
 町内会・民生委員等の繋がりや活動

荒町地区社会福祉協議会
 町内会・民生委員・防犯協会
 社会福祉協議会若林事務所
 五橋包括支援センター

子どもたちへの
防犯

(2) 商店街(お店)・企業の強み
 発想・商売眼・人材・資金

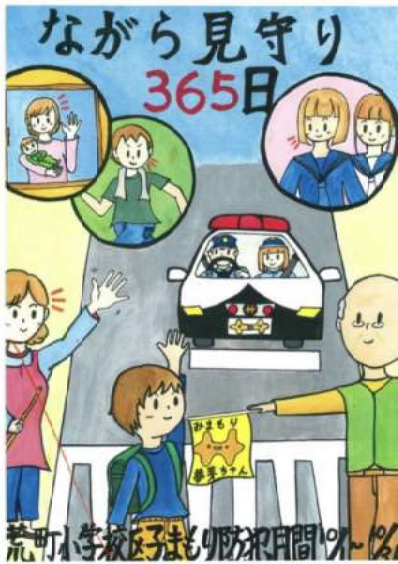
荒町商店街振興組合
 警備会社・(株)ユーメディア
 七十七銀行・仙台銀行
 荒町郵便局・東北学院大学

(3) 行政機関の強み
 公的支援(情報・協力・広報・資金)

荒町市民センター
 若林警察署・若林区役所

10月荒町小学校の学校区内

荒町子まもり防犯月間



最優秀賞
宮城県若林警察署 署長賞

令和4年度仙台台荒町子まもり防犯標語コンクール
テーマ「365日ながら見守り」

最優秀賞

『
登下校見守るえがおにありがとう
』

荒町小 三年林 はるひ

令和4年度仙台台荒町子まもり防犯標語コンクール
テーマ「特殊詐欺防止」

最優秀賞

『
ほんとかな？
でんわをきこて
かけなおそう
』

荒町小 一年 やぎぬまいり

子まもり防犯月間 活動レポート 広告・印刷・出版会社(荒町近隣)

荒町子まもり防犯月間
活動レポート
2021.10/1~10/31

荒町子まもりプロジェクトとは

防犯教室・防犯訓練

プロジェクトオープニング
防犯ポスター・標語コンクール表彰式

あらまち子まもりハロウィン

各団体の主体的な取り組み8

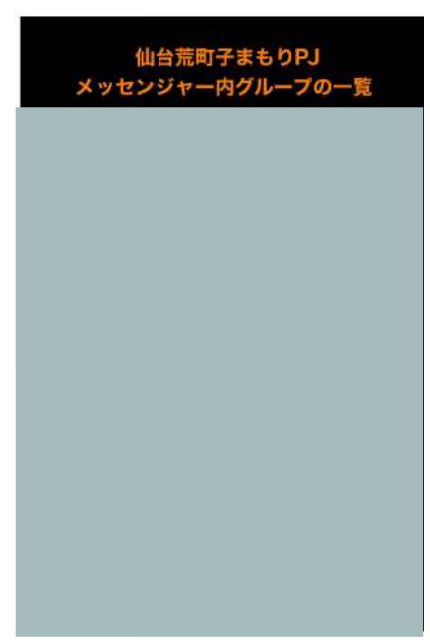
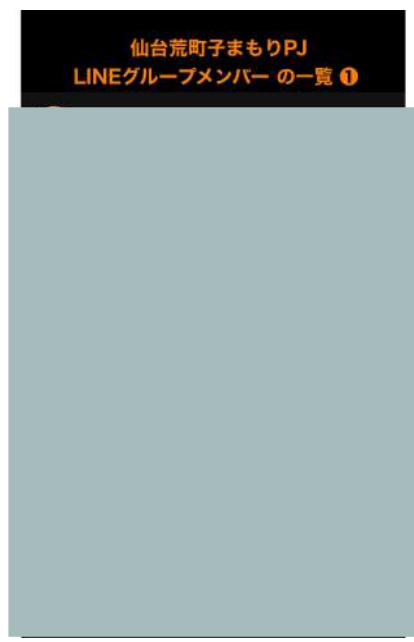
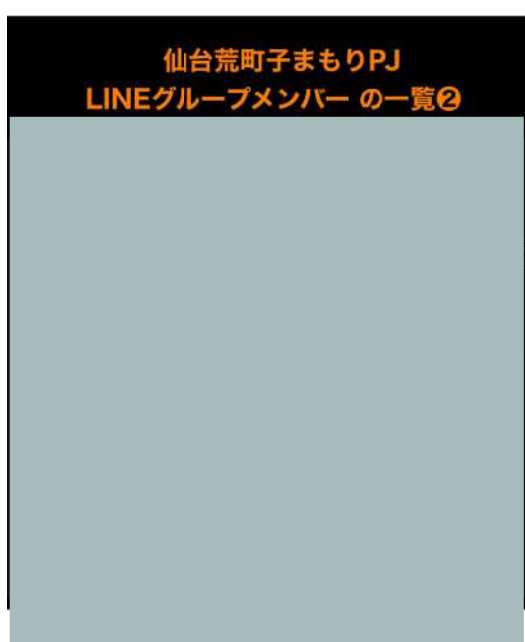
各団体が主体的に取り組む価値1

『ながら見守り365日へ』各団体はそれぞれが持つ繋がりへ伝え広げること、
『子どもを見かけた時に、温かい眼差しで見守る』大人の目を増やすことができる。

日頃の活動の強みを活かすことで
防犯意識が高まる



子まもり実行委員のグループライン

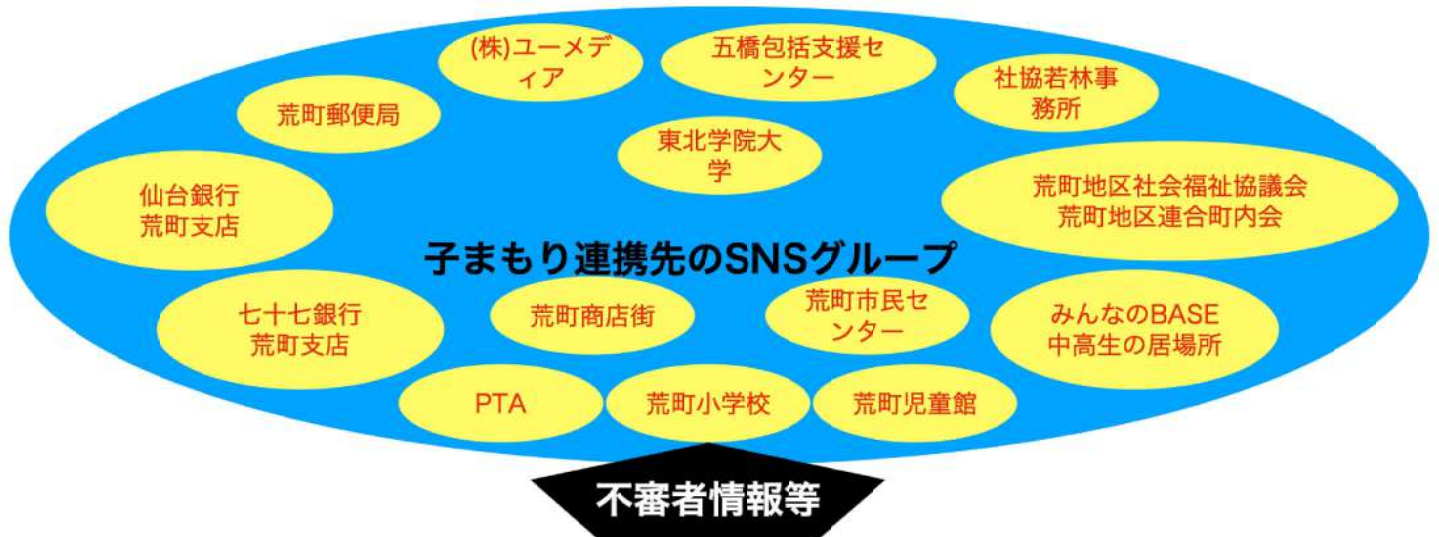


情報の共有・関係性づくり(1)

'22.5月31日に確立

不審者情報等をプロジェクトメンバーにSNSですぐに共有

子まもりプロジェクト14団体の26名が参加登録



情報の共有・関係性づくり(2)

年間通して防犯以外でも連携団体との関係性づくりが『ながら見守り365日』へ



荒町小の子どもたちから届いた

お礼のメッセージ



子どもたちはお菓子だけではなく

『大切なもの』

も受け取ってくれていました

未来の地域課題解決の担い手

一人ひとり、1団体1企業の役割を継いで

誇れる わが町 あらまち

誇れる わが町 宮城・仙台

仙台荒町子まもりプロジェクト

荒町商店街振興組合

児童館と地域連携

～365日地域で見守りへの道～



私たちの団体ワーカーズコープは『共に生き』
『共に育ちあう』社会を目指しています。

○市内8つの児童館、子育て広場、院内保育、みんなのBASEの合言葉

『子どもたちをまん中に
地域みんながふれあう あったか交流広場』

特定非営利活動法人ワーカーズコープ
仙台市荒町児童館
2010年仙台市より委託



『飛び出せ児童館』

地域への参画

13年目へ突入

- ・児童館も地域の一員としての意識
- ・私たち職員も子どもたちが日々暮らし、生きる地域を知る
- ・地域の取り組みに点ではなくプロセスを知る
- ・地域づくり、まちづくりに地域の方々とともに取り組む。
- ・子どもたちや保護者の「想い」、地域の方々の「想い」

児童館から・・・



- ・畑づくり
- ・ハロウィンパレード
- ・子ども食堂
- ・乳幼児向けコンサート
- ・味噌作り
- ・広瀬川とサケ
- ・まごころ市(バザー)
- ・リース作り



地域とのつながり・・・



- ・仙台七夕吹き流し
- ・地域お祭り
- ・おやじ会のデイキャンプ
- ・フェスティバル
- ・イルミネーション
- ・地域お年玉抽選企画
- ・老人会とのしゃぼん玉、やきいも大会
- ・卓球教室
- ・回文うちわ ・回文うちわ紙芝居
- ・1人じゃできないから歌の合唱



回文うちわをきっかけに・・・



『今までの関わりが点と点だったのが
横の繋がりにつながった』

地域・・・

- ・子どもとの接点をどう持っていいかわからない。
- ・関わりたい想いはあるが関わり方がわからない。
- ・見守り方がわからない。

子どもたち・・・

- ・商店街の人を知らない
- ・どんな人が街に住んでいるのか
- ・子どもだけでお店などに入りづらい



きっかけ

小さな関わり



- ・回文うちわ授業へ参加
- ・ハロウィン時のお菓子提供
- ・日々の子どもの見守り等

- ・回文うちわ
- ・1人じゃできないから歌の合唱
- ・防犯ハロウィン
- ・回文うちわ紙芝居
- ・子まもり防犯

大人も子どもも顔が見える関係へ

連携の輪が広がった



地域の中でたくさんの経験を

総括講演

「多様な主体の連携・協働のために

～みんなをつなぐ物語という伝え方～」

講師

特定非営利活動法人いわて連携復興センター 代表理事 葛巻 徹 氏

多様な主体の連携・協働のために ～みんなをつなぐ物語という伝え方～

2022年11月2日

NPO法人いわて連携復興センター 代表理事
NPO法人コミュニティ・オーガナイズング・ジャパン 理事
葛巻 徹

1

自己紹介

○葛巻徹

1977年岩手県花巻市生まれ。福島への大学進学、仙台での就職を経て、27歳で岩手に転勤(帰ってくる)。

サラリーマン(営業職)の傍ら、子どもが生まれてから地域活動・市民活動に目覚め、**2006年**から花巻市内のNPOの活動にも関わり、NPO法人花巻市民活動支援センターの理事・事務局長を**2009年**から担う(ボランティア・現在は理事長兼任)。

2011年4月にいわて連携復興センターを鹿野順一ら岩手県内の中間支援NPO数団体で立ち上げ、理事・事務局長となる(専従職員)。**2017年**から代表理事。

東北でもファンドレイジングの学びの機会とネットワークをつくる為に、2016年に日本ファンドレイジング協会東北チャプター設立。

公益財団法人地域創造基金さなぶり副理事長、NPO法人コミュニティ・オーガナイズング・ジャパン理事、一般社団法人みちのく復興・地域デザインセンター代表理事などNPO支援の活動に従事している。

2

活動紹介

○花巻ええじゃない会(だいたい2006年位～)
花巻の若者(20代～30代)で花巻を面白くする活動
を！

- ・24時間100キロウォーク
- ・まちなかで盆踊り大会
- ・ロスジェネフリートーク
- ・はしご酒企画
- ・イベント出店

* おもしろきこともなき世をおもしろく

3

活動紹介

○「自分たちでも出来る」成功体験を！



○24時間100キロウォーク
(完歩者が実行委員に)



○はしご酒
自分達で面白い事を₄

活動紹介

○地域活動にボランティアとして関わった自分の成功体験

- ・職場、家族、友人以外の社会とつながった。
(ジブンゴト化=新聞や、ニュースに興味がわく)
- ・自己肯定感がUP！
あまり社会の役に立たないと思っていた自分
ビジネススキルが役に立った！
- ・人が変わる事で地域が変わる実感
仲間達が自分自身の事で挑戦していく。
自分達で変えていけるという実感。

5

花巻ええじゃない会でのしくじり・・・

- ・全部自分でやっていた。
- ・長期的な目標がなかった。
- ・自分達が楽しむ事という感じが強く
内輪な感じになってしまった。
- ・活動の必要性や想いを伝えられな
かった

6

- ➡ 地域課題の所在 と 解決方法 を発信し
- ➡ 「共感」 でつながる人々からの 資源 を集め
- ➡ 社会課題の解決 を促進すること

7

多様な主体との連携に必要な

物語(ストーリー)を伝えて、共感を広げる。

活動に参加、参画してもらうための関係性づくり

相手の価値観・関心にアプローチする。

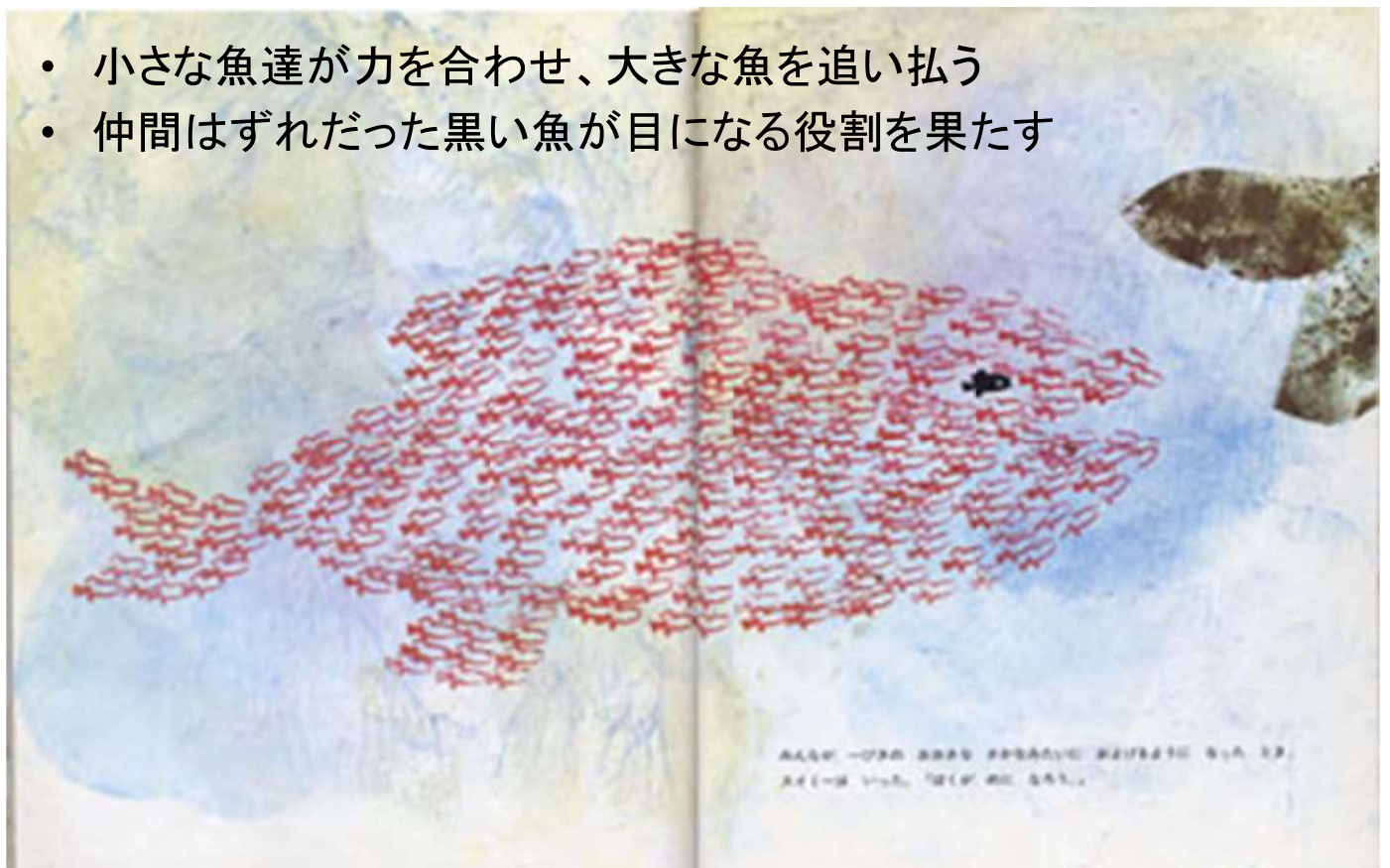
8

コミュニティ・オーガナイズング

- 20世紀初頭から社会的弱者（女性、労働者、移民、有色人種）の声を社会に届ける取り組みとしてアメリカで始まる。
- アメリカのみならずヨーロッパ、南米、中東、アジアに展開



- 小さな魚達が力を合わせ、大きな魚を追い払う
- 仲間はずれだった黒い魚が目になる役割を果たす



一揆



5つのリーダーシップの実践

まとまってない状態	リーダーシップ	まとまっている状態
消極的	ストーリーの共有	意欲的
バラバラ	関係に基づいたコミットメント	団結
漂流	明確な組織構造	調整
反応的	創造的な戦略	自発的
無効	測定でき、目標のある行動	有効

 価値観

VALUES



 感情

EMOTION



 行動

ACTION

価値観とは何でしょうか？

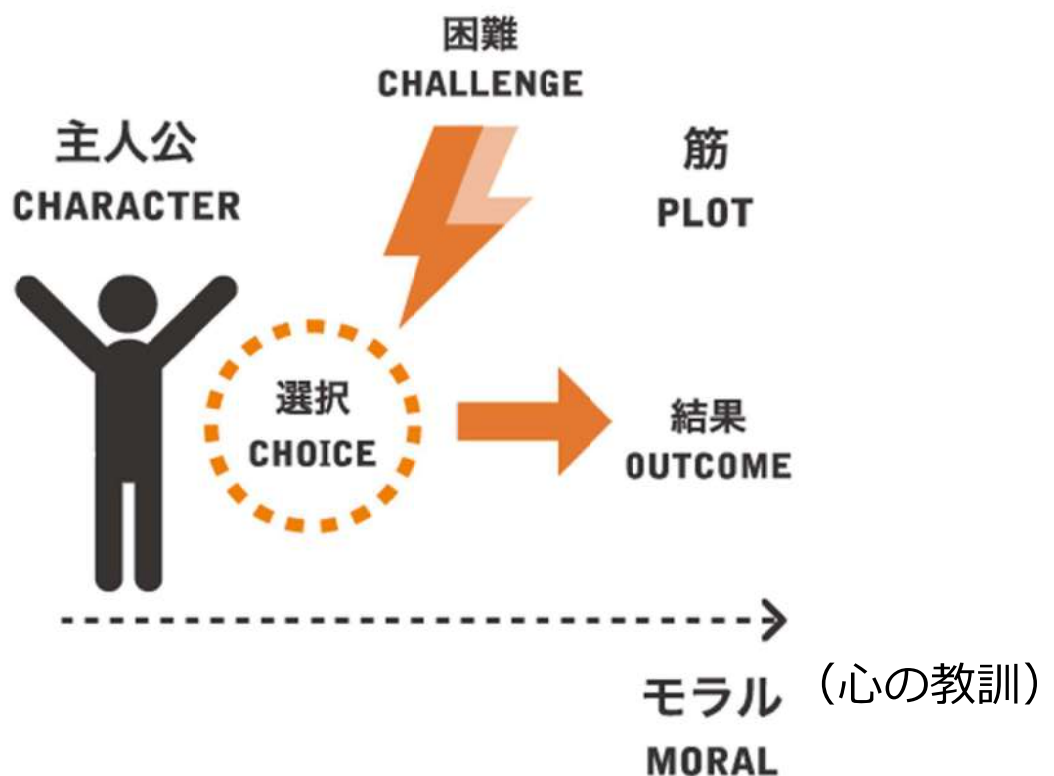
大事にしていること、思い
自分の判断・行動の軸

価値観は生まれながらに持っているものでしょうか？

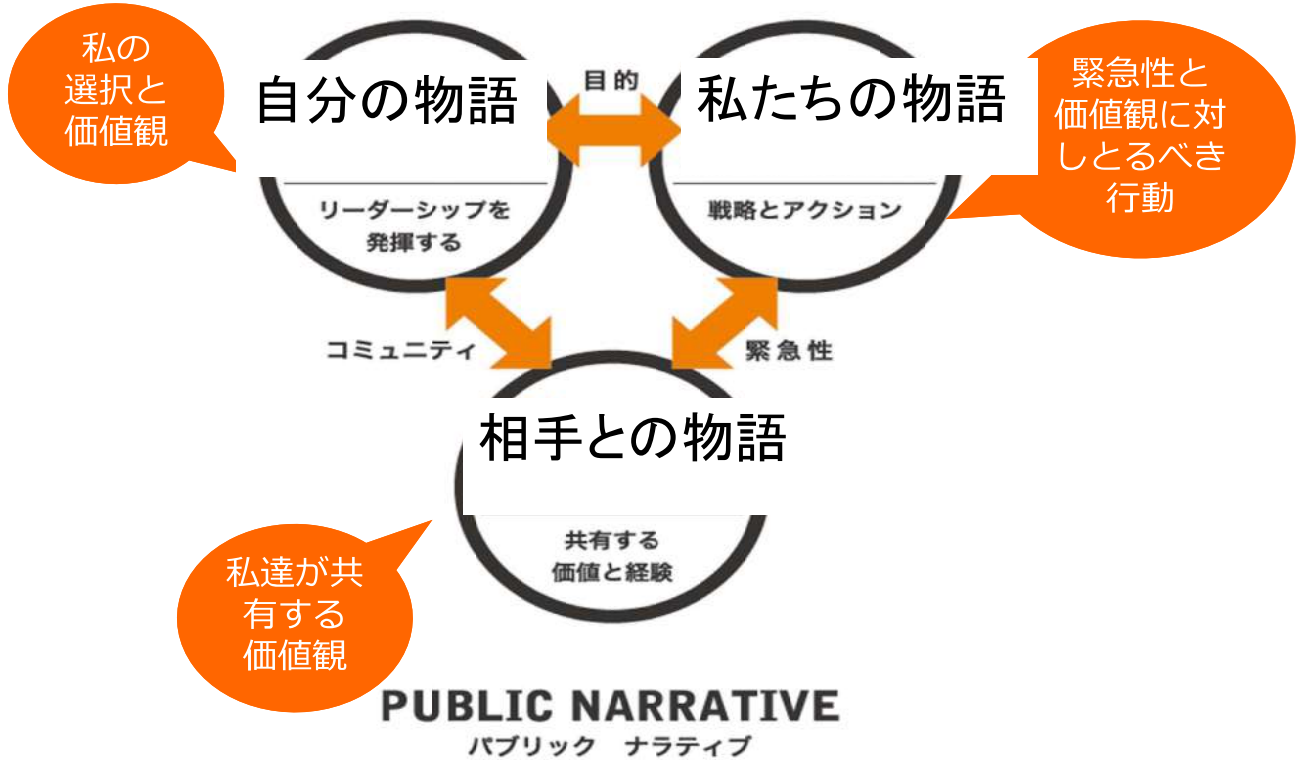
ストーリーとは

- 筋
 - 主人公
 - モラル(教訓)
-
- 筋とは？

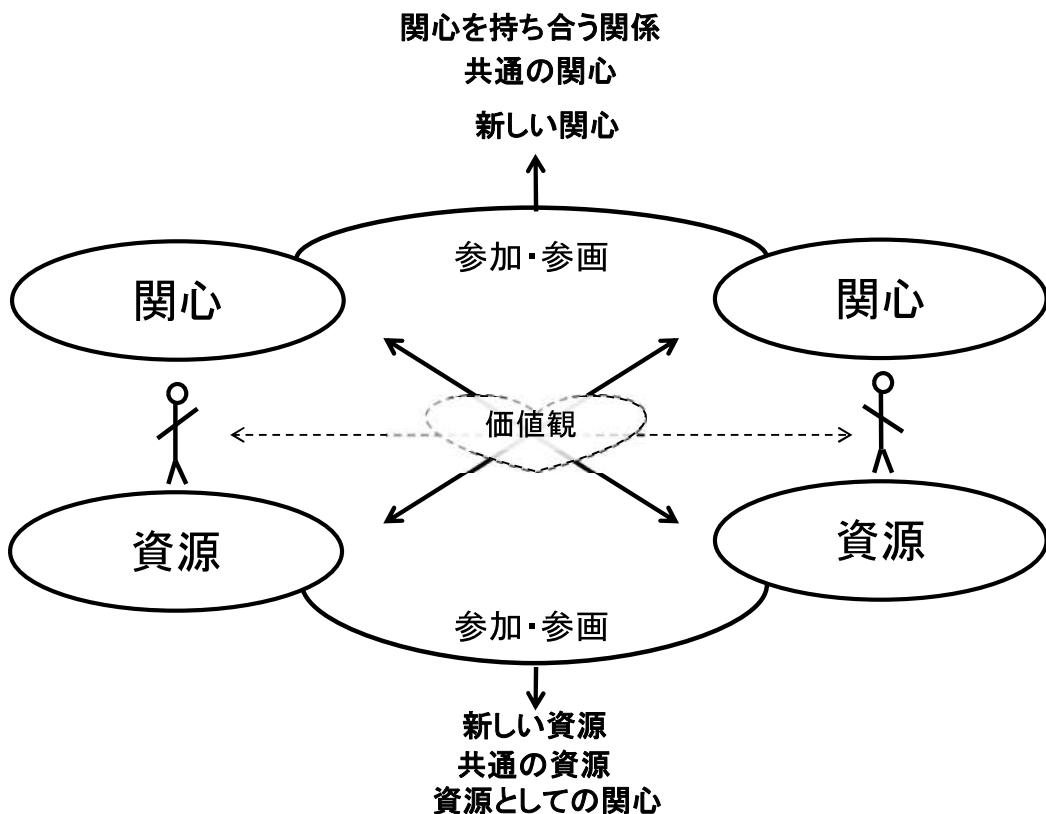
筋(プロット)とは



3つの物語の構造



地域活動で必要とされる関係



第20回 地域福祉セミナー開催要綱

1 目的

現在、地域住民や地域の多様な主体が「我がごと」として参画し、世代を超えて「丸ごと」つながり、生きがいや役割を持ち、助け合いながら暮らしていくことのできる地域や社会をともに創っていく、「地域共生社会」の実現に向けた取り組みが進められています。

そのような中、令和3年度より始まった「せんだい支えあいのまち推進プラン」及び「第5次地域福祉活動計画（せんだい ai プラン）」においても、地域との関わりを持つ全ての人や団体、企業、学校等が地域の一員として、それぞれの得意分野を活かしながら積極的に行動、連携、協働していくことを重要とし、「みんな」が担い手となって参加し、支えあう地域づくりを目指しています。

本セミナーでは、地域のさまざまな活動主体による連携、協働の実践報告とともに、「出会い、手を取り合い、支え合い」など、たくさんの「ai」でみんながつながり、私たちが住む仙台をより暮らしやすいまちとしていくために必要な視点について考えていきます。

- 2 主催 社会福祉法人仙台市社会福祉協議会 仙台市
- 3 共催 仙台市地域包括支援センター連絡協議会
- 4 後援(予定) 仙台市連合町内会長会、仙台市民生委員児童委員協議会、日本赤十字社宮城県支部仙台市地区本部、仙台市共同募金委員会、仙台市老人福祉施設協議会、仙台市知的障害者関係団体連絡協議会、(社福)仙台市手をつなぐ育成会、(社福)仙台市障害者福祉協会、(特活)仙台市精神保健福祉団体連絡協議会、(特活)せんだい・みやぎNPOセンター、(社福)宮城県社会福祉協議会、(一社)宮城県社会福祉士会、仙台商工会議所、(公社)仙台青年会議所
- 5 日時 令和4年11月2日(水) 13:30~16:00
- 6 テーマ 「みんなの“ai”でつながる地域」
- 7 会場 【会場参加】 仙台市福祉プラザ 2階ふれあいホール
(仙台市青葉区五橋2丁目12番2号)
【オンライン参加】 各参加者の自宅や職場等(インターネット環境必須)
※申込時に会場参加またはオンライン参加のどちらかを選択
- 8 参加対象 地区社協役員・福祉委員、民生委員児童委員、町内会関係者、地域包括支援センター職員、NPO、企業、学校、その他関心のある方
- 9 参加費 無 料
- 10 定員 会場参加：250名(先着順)

11 内 容(予定)

時 間	内 容
13:00	受付開始
13:30	1 開 会
13:40	<p>2 実践報告『多様な主体の連携・協働による地域づくり』</p> <p>地域で生活する異なる立場の個人・団体等がつながって展開される実践の報告をもとに、様々な分野に関わる住民の連携によって生まれる活動の広がりについて考えます。</p> <p>進行役：特定非営利活動法人いわて連携復興センター 代表理事 葛巻 徹 氏</p> <p>(1) 活動事例 「中学生主体のボランティアサークルと地区社協の連携について」 報告者 ちょこボラ（ビデオメッセージ） 錦ヶ丘地区社会福祉協議会</p> <p>(2) 活動事例 「よりどころ にこにこ広場の取り組みについて」 報告者 中田地区社会福祉協議会 西中田地域包括支援センター</p> <p>(3) 活動事例 「荒町子まもりプロジェクトの取り組みについて」 報告者 荒町商店街振興組合 荒町児童館</p>
15:00	休憩
15:15	<p>3 総括講演</p> <p>前半の実践報告を踏まえ、多様な主体が連携・協働する意義とそのために大切な視点について学びます。</p> <p>講 師：特定非営利活動法人いわて連携復興センター 代表理事 葛巻 徹 氏</p>
16:00	4 閉 会

12 申込方法

令和4年10月21日（金）までに所定の申込書に記入の上、郵送・電話・FAX・Eメールのいずれかにてお申込みください。定員の都合上、参加不可の場合のみお知らせします。

【申込後について】

(1) セミナー受講決定について

オンライン参加の場合、ZOOM ID 及びパスワードをお送りします。

(2) 資料について

会場参加される方には、当日会場にて資料をお渡しいたします。

オンラインにより参加される方は、資料データを下記の仙台市社会福祉協議会ホームページ上に10月28日（金）までに公開しますので、ダウンロードして必要に応じて印刷をお願いします。（※仙台市社会福祉協議会で検索）<http://www.shakyo-sendai.or.jp>

【オンライン参加の場合の動画視聴方法等について】

(1) オンライン参加の場合、動画を視聴するにあたり、インターネットに接続したパソコン等の端末が必要となりますのでご準備ください。

(2) 動画は、ZOOM でライブ配信します。

(3) 動画視聴のための ZOOMID 及びパスワードは、申込締切後に別途メールでご案内しますので、申込書に、必ずメールアドレス、連絡先をご記入ください。

【新型コロナウイルス感染症拡大によるセミナー中止等の判断および対応について】

宮城県において新型コロナウイルス感染症拡大状況により、やむを得ず中止等の判断を行うことがあります。その場合は、仙台市社会福祉協議会ホームページにて対応等を含めてお知らせします。

13 その他

ご来場の際は公共の交通機関をご利用ください。自家用車の場合は近隣の有料駐車場をご利用ください。

14 問合せ・申込み先

社会福祉法人仙台市社会福祉協議会 地域福祉係

仙台市青葉区五橋 2-12-2 仙台市福祉プラザ 6F

電話：022-223-2026 FAX：022-262-1948

Eメール：tiiki@shakyo-sendai.or.jp

HP：<http://www.shakyo-sendai.or.jp>

令和4年11月

発行 社会福祉法人仙台市社会福祉協議会